

平成二十七年度第二十八回夕暮祭短歌大会入賞歌

秦野市長賞

登山靴とニツカボツカで通ひたり大秦野駅おおはたのの青春入口

秦野市教育委員会教育長賞

ものの芽に影の生まるる畦道を老いたる犬とゆつたり歩む

秦野市制六十周年記念特別賞

青空を突き破りそうな勢いで吾子は黄色の傘を広げる

村岡嘉子選者賞

夕べには浸し朝には引き上げて朧に白根の出るまでを待つ

山田吉郎選者賞

避難せし孫を語れる飯館村いいたての老女の背に木守り柿ゆる

佳作

インドネシアの畔あせの葎むぐらに燕つばめゐて飛び越えて来し島嶼とうしょを語る

立ち上がる仕掛け絵本の春の庭次の頁にオダマキ萌える

見付けたる少年の日のハモニカに当てる唇恥ぢらひに似て

早苗田に浮かぶ日影をゆり乱すわが撒く肥の小さな水輪

哀しみを裡うちに部厚く塗りこめしルオーが描く道化の横顔

捌かれる鰯を見つめる幼子は手をにぎりしめまばたきもせず

寒風に翅を閉ざした越年蝶は身をひらかんと音立ててゐる

本はかぎ光るトビラの見えないかぎトビラを開くと新しい世界

高い次元三次元にもどせない見ようと思えばゆがんでしまう

縦横に徒長枝伸ばして花咲かす峠やまげの野梅幹太ぶとと

絶え間なく櫻散りくる参道の朝市に買ふ山独活二本

諍しやういをせぬ日なかりし父母なれど母の遺作集にその歌あらず

夕暮の生まれし里に生まれしと母の自慢の南矢名訪ぬ

通園の道に杉苗植うる畑ほほ秀は伸ぶ昭和の穂波

おとうとのむかし恐竜だったという証浮き出た背骨にふれる

練りあんにヨモギだんごをちぎり入れその瞬間春が生れた

テニスの詩英語で送り来し頃の面影淡し施設の友は

病癒えし友と佇む川の辺に蛍とびかふ闇豊かなり

丹沢の豆腐買いたる帰り道盛りあがる黄の山吹に会う

そよ風に木漏れ日ゆれてみどり児の小さな欠伸あくび午後ごごの公園

茨城県常総市

石塚 明夫いしづか あきお

神奈川県伊勢原市

増井 智子

東京都八王子市

岡部 美穂

神奈川県茅ヶ崎市

白井 東生

神奈川県相模原市

彦久保 長治

神奈川県横浜市

伊川 公司

神奈川県秦野市

八木 実

神奈川県藤沢市

浦崎 真子うらさき まさこ

山口県宇部市

藤井 重行ふじい しげゆき

茨城県古河市

立石 和正たていし かずまさ

岡山県岡山市

信安 淳子のぶやす じゆんこ

福島県いわき市

伊藤 保次

アメリカワシントンDC

芥川 正浩

アメリカワシントンDC

横堀 就海

神奈川県寒川町

斎藤 国郎くにお

神奈川県愛川町

松澤 昭子

和歌山県和歌山市

松田 容典まつだ よしのり

神奈川県藤沢市

村上 享子

神奈川県秦野市

新名 安佐子

宮城県富谷町

吉田 詩織よしだ しおり

神奈川県大和市

飯塚 美智枝

千葉県鎌ヶ谷市

久保田 鶴子

東京都町田市

青戸 紫枝あおと しえ

神奈川県藤沢市

岩科 宗之

神奈川県秦野市

細谷 幸子ほそや さちこ